

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

編輯局報情

報週

號日十三月九

思想戰讀本
思想戰と經濟

軍人援護特輯
援護施設の概況
軍人援護教育について
戦傷者の結婚問題
強化される電燈消費規正

312號

昭和十七年九月三十日 第三種郵便物認可 (毎週一回水曜日発行)

五錢

週報は民翼賛の道しるべ

9月抽籤貯蓄債券 當籤番號表(其ノ一)

支拂開始期 10月1日
支拂場所 日本勧業銀行本店、出張所・代理店及集配郵便局

全當籤番號掲載紙 官報、債券時報別外
(番號表中太字・同別、括弧内金額・増増金)

昭和十七年9月 大藏省・日本勧業銀行

1068	4636	8009	11241	15012	18553	21727	23344	26878	32700	36243	40207	44273	48191
1069	4705	8018	11256	15016	18682	21762	23356	26894	32761	36414	40273	44305	48298
1111	4745	8022	11358	15067	18750	21764	23431	26927	32836	36489	40348	44380	48373
1227	4781	8040	11435	15080	18767	21773	23493	26986	32943	36596	40451	44492	48485
1272	4782	8091	11465	15090	18821	21802	23513	27045	33053	36706	40554	44594	48587
1324	4822	8182	11642	15077	18847	21828	23500	27085	33160	36813	40657	44696	48689
1364	4860	8214	11645	15138	19071	22003	23510	27125	33267	36916	40760	44798	48791
1386	4875	8276	11681	15175	19115	22132	23598	27165	33374	37019	40863	44899	48893
1523	4904	8327	11692	15209	19214	22149	23714	27205	33481	37122	40966	44999	48995
1575	5011	8419	11720	15296	19319	22197	23720	27245	33588	37225	41069	45099	49091
1685	5099	8508	11787	15462	19378	22229	23809	27285	33695	37328	41172	45199	49183
1739	5239	8619	11823	15479	19386	22265	23938	27325	33802	37431	41275	45299	49275
1770	5301	8635	11930	15931	19412	22353	26107	27365	33909	37534	41378	45399	49367
1879	5432	8644	11961	15938	19441	22343	26150	27405	34016	37637	41481	45499	49459
1957	5467	8671	11978	15616	19488	22492	26192	27445	34123	37740	41584	45599	49551
2004	5518	8713	12054	15709	19542	22502	26297	27485	34230	37843	41687	45699	49643
2045	5573	8766	12076	15787	19649	22566	26311	27525	34337	37946	41790	45799	49735
2131	5622	8840	12112	15850	19668	22635	26407	27565	34444	38049	41893	45899	49827
2173	5633	8878	12146	15905	19721	22647	26452	27605	34551	38152	41996	45999	49919
2197	5683	8987	12172	15962	19754	22740	26497	27645	34658	38255	42099	46099	50011
2205	5746	9094	12193	16178	19766	22829	26497	27685	34765	38358	42199	46199	50103
2284	5802	9147	12207	16188	19783	22845	26613	27725	34872	38461	42299	46299	50195
2310	5844	9187	12222	16322	19797	22863	26619	27765	34979	38564	42399	46399	50287
2385	5878	9198	12241	16358	19848	22871	26660	27805	35086	38667	42499	46499	50379
2394	5892	9201	12244	16373	19876	22934	26681	27845	35193	38770	42599	46599	50471
2498	5958	9227	12493	16393	19889	22958	26742	27885	35300	38873	42699	46699	50563
2482	5967	9233	12513	16327	20022	23105	26770	27925	35407	38976	42799	46799	50655
2674	6053	9309	12554	16629	20054	23149	26775	27965	35514	39079	42899	46899	50747
2765	6361	9422	12598	16893	20106	23217	26809	28005	35621	39182	42999	46999	50839
3049	6367	9447	12609	17056	20110	23274	26874	28045	35728	39285	43099	47099	50931
49859	2090	2010	6371	9353	12649	17064	20151	23318	26948	31163	34683	38859	42443
	2413	6468	9389	12714	17082	20223	23334	26990	31168	34775	38945	42493	46353
	3127	6590	9612	12761	17093	20245	23372	27037	31182	34872	38945	42493	46353
	3139	6667	9750	12761	17133	20286	23353	27133	31206	34883	39055	42533	46440
	3173	6669	9753	13143	17246	20291	23353	27199	31270	34888	39111	42538	46435
	3244	6765	9767	13206	17304	20303	23605	27239	31282	34914	39141	42573	46466
	3270	6791	9816	13314	17379	20444	23729	27339	31497	35038	39107	42875	46512
	3306	6863	9838	13345	17436	20516	23809	27371	31508	35131	39109	42956	46574
	3358	6946	9877	13537	17517	20522	23836	27371	31658	35233	39110	42971	46850
	46	3428	7011	13598	17540	20538	23876	27612	31719	35271	39153	43116	47010
	131	3523	7110	13677	17532	20613	23916	27651	31871	35323	39167	43206	47058
	132	3539	7135	10144	13923	17631	20733	24113	31894	35372	39233	43279	47086
	194	3536	7173	10185	14008	17667	20760	24138	31930	35420	39249	43361	47101
	243	3634	7196	10222	14015	17801	20776	24169	31975	35469	39251	43373	47154
	248	3709	7217	10238	14020	17838	20813	24170	32003	35522	39282	43379	47292
	272	3823	7249	10273	14124	17853	20861	24173	32016	35574	39379	43380	47344
	291	3870	7254	10304	14212	17949	20869	24174	32140	35626	39433	43493	47352
	346	4013	7460	10731	14230	17970	20952	24214	32198	35672	39439	43512	47357
	471	4033	7508	10769	14293	17977	21125	24234	32392	35726	39468	43533	47433
	485	4065	7562	10824	14316	17941	21174	24249	32471	35744	39536	43563	47483
	550	4185	7586	10905	14363	18016	21282	24430	32567	35737	39736	43596	47503
	679	4208	7630	10975	14359	18036	21301	24458	32573	35769	39754	43641	47610
	724	4254	7675	11017	14339	18119	21302	24524	32585	35799	39807	43701	47646
	753	4255	7704	11092	14353	18133	21341	24532	32600	35926	39855	43744	47678
	783	4261	7705	11087	14600	18167	21382	24746	32601	35946	39932	43811	47740
	789	4283	7712	11109	14674	18191	21486	23797	32624	36081	39937	43870	47893
	924	4320	7737	11133	14717	18204	21537	23008	32633	36098	40043	43830	47931
	927	4482	7778	11173	14833	18211	21533	25026	32656	36125	40148	43973	47932
	1043	4522	7875	11188	14847	18213	21610	25032	32663	36174	40190	44120	48143
	1044	4612	7987	11216	14923	18541	21691	25312	32666	36214	40202	44218	48144

(本書の大きさは国定規格A5判)

露光量違いにより重複撮影

国民合唱 來れや來れ

外山正一作詞
伊澤時信作曲

(♩=76)

1. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
2. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
3. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ

1. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
2. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
3. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ

1. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
2. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
3. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ

1. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
2. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ
3. きいさめや いさめや いみみ ぎいさめ いさめ いみみ

來れや來れ
外山正一作詞

一、きたれやきたれやいざきたれ
皇國を守れやいざとにも
よせくる敵は多くとも
おそるゝなけれ恐るゝな
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

二、いさめやいさめや皆いさめ
つるぎもたまも何のその
皇國を守るつはもの
身は鐵よりもなほかたし
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

三、すゝめやすゝめや皆すゝめ
皇國の旗をばおしたてゝ
進めや進めみな進め
先祖の國を守りつゝ
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

(來源と再來通火木土曜日、午後七時半ヨリ放送)

週報

第三十二號
九月三十日

軍人援護特輯

軍事保護院
大東亞戦下の軍人援護………
軍人保護教育について………
援護施設の概況………
戦傷者の結婚問題………
傷病軍人指導農場………
強化される電燈の消費規正
電気廳………

思想戦讀本(三)
思想戦と經濟………
大東亞戦争日誌………

新聞問題

九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題

九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題

九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題

九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題
九月十七日(金) 新聞問題

露光量違いにより重複撮影

国民合唱 来れや来れ

(♩=78)

作曲 正二 作詞 外山正二
編曲 伊藤 時

来れや来れ
さたれやきたれやいざきたれ
皇國を守れやいざも
よせくる敵は多くとも
おそろなけれおそろなけれ
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

一、いさめやいさめや音いさめ
つるさもたも何のその
皇國を守るはもの
身は儼よりもなほかたし
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

三、すめやすめや音すめ
皇國の旗をばおしたて
進めや進めみな進め
先祖の國を守りつ
死すともしりぞくことなけれ
皇國のためなり君のため

東京市内各道大木土曜日午後七時より録音

週報

第三二二號 九月三十日

軍人援護特輯

軍事保護院

大東亞戦下の軍人援護
軍人援護教育について
援護施設の概況
戦傷者の結婚問題
傷病軍人指導農場
強化される電燈の消費規正
電氣 附一七

思想戦讀本 (三)
思想戦と經濟
大東亞戦争日誌

週日誌

九月十七日迄
外務大臣に谷正之氏信報
局長兼任、國務大臣に青木
一男氏親任さる
國民政府への参訪使節團
一行出發
九月十八日(念) 滿洲軍第十一
メナドならびにクローパン
攻略に落下傘部隊として参
加した横須賀鎮守府第〇〇
特別陸戰隊、同第〇〇特別
陸戰隊および關西作戦に参
加の第〇〇航空隊、〇〇海
軍航空隊に對し感狀が授與
され、上開に達した員、海
軍省公表
九月十九日(念)
マレー、スマトラ作戦に
依勳を樹てた佐々木政治中
尉(中尉)、奥本實中尉以
下五勇士(レンバン連隊部
隊)に對し感狀が授與され
上開に達した員、陸軍省發
表

表
九月二十日(念) 第三回航空有功章の授與
式を舉行
九月二十一日(念)
マレー作戦に依勳の堀田
邦美大尉、國井正文中尉に
對し感狀が授與され、上開
に達した員、陸軍省發表
江省方面部隊の綜合戰果を
中支東發表
米大統領、海空軍の増強
費二十七億ドル案を議會に
提出
九月二十二日(念)
靖國神社臨時大祭(十月十
五日)に新合祀の英雄
一萬五千二十一柱の氏名を
陸軍省發表
軍神・加藤建夫少將の陸
軍葬を執行
國民民生金庫引受資産の
評價方法基準を商工省決定

大東亞戰下の軍人援護

支那事變に續く大東亞戰爭の赫々たる戦果は、前線將兵の決死盡忠によつて立ち上られたものであります。大君のため、國のために私を滅して皇國に生き、天壤無窮の皇運を扶翼し奉ることは、日本臣民の最高の感激であります。皇國のために祈んで死ぬ人々によつて日本の國が存立し、榮えて行くものとすれば、前線の將兵に對してわれわれは、どんなに感謝を捧げても十分とは言へません。

今年も軍人援護に關する有難き勅語を賜はつた十月三日から八日まで軍人援護強化運動が展開されますが、畏れ多くも昭和十三年十月三日に賜はつた勅語には「惟フニ戦局ノ擴大スル或ハ戦ニ死シ或ハ戦ニ傷キ或ハ疫癘ニ罹ル、モノ亦少カラス是レ朕カ夙夜惻怛禁スル能ハサル所ナリ宜シク力ヲ軍人援護ノ事ニ効シ遺憾ナカラシムヘシ」と仰せられてをるのであります。

皇室の下、われわれ一億は一家であります。出征軍人やその遺族、家族、或ひは傷痍軍人は、盡すべきを盡したのを名譽とし、もちろんいさ、かも求めるやうなことはありませんが、同じ家族であり同胞である銃後の國民が、これらの方々に深く感謝の誠を捧ぐべきは當然であります。

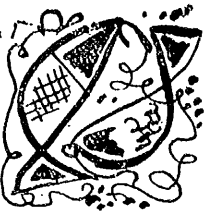
「後のことは心配せず、立派な働きをするやうに……」これは出征兵士を送る日本の母の言葉であり、

父の言葉であります。この父母あつてこそ、この言葉あつてこそ、皇軍は強いのです。盡忠報國の勇猛心は、なんら後顧の憂ひのない時にはじめて、兵火の中に敢然と振ひ立つのです。遠く征地にある將兵の留守宅を守り、相扶け、相なぐさめ、一戸も後顧の憂ひのないやうにすることは、銃後國民の當然の責務であります。

もちろん國家は十分の施策を講じてをり、その施設の完璧は、世界に比類がないと言はれてゐるほどです。しかし國家がなし得るのは主として物的援護であつて、最も必要な精神的援護は、銃後一億の心からの温い援護に俟つ外はありません。慰問袋に例をとつてみても、お義理で作る慰問袋では慰問にはなりません。戦地の兵隊さんを思ふ真心から作つた慰問袋であれば、何はなくとも慰問の目的を立派に果たすことができます。

前線將兵の念頭を離れぬのは銃後のことであり、銃後の貯蓄報國に協力しようとする前線の兵隊さん達が貯蓄してゐるとの語さへ聞きます。銃後の真心が遺族、家族を通じて前線へ、或ひは慰問袋や慰問文を通じて前線へ傳はり、前線と銃後が一つ心に強く結ばれた時、大東亞戰爭は必勝不敗であります。

大東亞戰爭は必然的に長期戦であり、出征將兵も、傷痍軍人も、今後ますます増加するものと見なければなりません。軍人援護の重要性は、これからいよいよ重きを加へるのであります。長期戦となれば、軍人援護の務めは十分に諷つてゐながらも、しらすのうちに援護の熱が薄らぎ易いものでありますから、常に相戒めて終始渝らず援護の實をあげるやう、この機会に心に固く誓はうではありませんか。



軍人援護教育について

軍人援護教育とは、軍人援護の精神を青少年層に徹底させ、その實踐を指導する教育であります。もつと分り易くいへば、銃後教育であり、廣い意味では時局教育でもあります。即ち、軍人援護に關する皇軍の御仁慈を徹底させると共に、前線の將兵に後顧の憂ひなく戦つて貰ふためには、私たち銃後國民はどうすべきかを教へる教育であります。

日本人にとつてどんなに崇高な義務であるか等のことを、中等學校、青年學校、國民學校の生徒、兒童に徹底させる教育であります。

軍人援護教育は、學校教育、特に國民學校教育に重點をおいてゐます。なぜ國民學校教育に重點をおいたかといひますと、長期戦下に遺族や傷病軍人は五年や十年でなくなるものではありませんが、これらの人達が最も援護を必要とするのは、戦争の最中よりも、年月が過ぎて、世間一般から忘れられ勝ちになつた時期であります。従つて、次ぎの時代を背負ふ青少年に、今から軍人援護の精神を植ゑつけておくことが最も肝要であります。

兒童は純真で、極めて感受性に富んでをります。この時代に軍人援護の精神を徹底させておけば、これが鉄となり、年月の經つにつれて援護精神が薄らぐといふやうなことはなく、將來、傷病軍人や遺族が冷遇されるといふやうなことは決して起らないでせう。

全國の國民學校の兒童の数は千八百萬にも及んでゐます。一家庭に少くも一人は、國民學校の兒童がある勘定となりますから、兒童を通じて家庭へ、家庭を通じて社會一般へ及ぼす影響力も非常に大きいわけです。

なほ忘れてはならないのは、傷病軍人や軍人の遺族や家族が求めてゐるの

は、心の底から湧き上る國民の感謝であつて、決して物質的な援助や表面的な慰問、慰問ではないといふことでもあります。ところが成人の援護は、とかく物質的に流れやすいのであります。が、眞心の伴はない援護は、むしろない方がよいといへます。

これは一例であります。或る市で家母に慰問袋を作製させた時、或る慰問袋があまり小さいので、係りの者が開けて見ますと、新しい雑誌が一冊だけ入つてをり、その間に何枚かの五十銭紙幣がペタ／＼と貼りつけてあつたのであります。面倒だからとか、義務だから仕方がないといふやうな、感謝の念を全く缺いた慰問袋では、慰問どころか、買った兵隊さんを憤慨させるだけであります。

純真な國民學校の兒童の中には、こんな怪しからぬ心がけの者は一人もをりません。兒童の慰問が戦地で一番喜ばれるのも尤もなことであります。

従つて、いまこれらの學童達に軍人援護の精神を十分に培つておけば、現在の國民學校の兒童が世に立つ時代には、誠意に缺けた人間は一人もゐなくなることでせう。

この軍人援護教育が始められたのは昭和十五年のことです。先づ兒童の練成に當る教職員に軍人援護の精神を理解させるための講習會を開きました。が、非常な好成績を収めましたので、昨年から全府縣に亘つて絶えずかうした講習會が行はれてゐます。

また、指導力を強化するために、府縣の視學を軍人援護の主務課にも勤務させて、學校の指導督勵に當らせる一方、國民學校の軍人援護教育の指針を定め、兒童に軍人援護の精神を注入するやうに努めてゐます。

なほ本年度からは、各府縣に軍人援護教育研究指定校を設けてゐます。これは大阪府の二十九校を筆頭に、一縣

少くとも五校以上を設け、全國では五百二十二校に達し、各その地方における軍人援護教育の推進力となつてをります。

以上、軍人援護教育のあらましを述べましたが、世間にはまだ、軍人援護教育と學校教育とは別個のものであると考へてゐる人もあるやうであります。しかし、國運を賭して大東亞戦争を戦つてゐる今日、戦争目的の達成上不可欠の軍人援護が、學校教育で大きな地位を占めるべきことは自明の理であります。時局下の軍人援護の教育を除いては、國民學校教育は成り立たないといへます。

わが國の軍人援護教育は、現在、國民學校に主力を注いでゐますが、順次、青年學校、中等學校、専門學校、大學に及ぼして行く計畫です。そのためには、銃後一億の理解と協力が絶対に必要なのであります。

援護施設の概況

政府の軍人援護事業は、道府縣と各團體に助成または補助して實施させてゐるものと、軍事保護院が直接に施設をして運営してゐるものとがありまゝす。軍事保護院で直接やつてゐる傷痍軍人に對する醫療保護施設としては、内科疾患に罹つた者に對する傷痍軍人療養所と國立結核療養所、精神障害者を收容する精神療養所、温泉治療を要する者のための傷痍軍人温泉療養所ならびに傷兵院、頭部戰傷者に對する療養所、外傷に基づく中樞神經障害、特化骨髄損傷者を療養する療養所等が全國に散在してをり、今年度は額療養所

傷痍軍人療養所と 國立結核療養所

戦争が結核蔓延に拍車をかけることは、過去の實例によつて明らかなので、

軍事保護院では創設後、直ちに傷痍軍人療養所の建設に取掛り、昭和十三

年以降、本年度分を含めて三十三ヶ所が出来上り、さらに厚生省から移管された國立結核療養所五ヶ所を合せますと合計三十八ヶ所に上ります。その位置と敷地は、だいたい一府縣一療養所を目標とし、軍隊の所在地や兵の出身地、人口の疎密等を考慮した上、道府縣に數ヶ所の敷地を選定したのですが、地元民の熱誠溢るゝ協力を得、選定に迷ふことが再三に止りませんでした。

敷地は總て高燥な健康地であり、日照とか通風關係には殊に留意し、また松その他の常緑樹のたくさんあることは、結核の療養に缺くことの出来ないものですから、建築のため伐る場合にもできるだけ残すやうにしました。なほ、厚生大臣の諮問機關として設けられた傷痍軍人醫療委員會の治療方針についての答申によりますと、治療は藥物依存を是正し、大氣安靜療法、合

理的營養、肺虛脫療法を根本方針とし、入所者は發病動機が一般と異ふ所以を肝に銘じて療養に専一し、再起奉公の誠をいたすやう療養の規律を確立し、肉體と精神の治療を醫學的管理の下に施行する一大道場としてゐます。勿論、軍病院とは密接な連絡を保持し、退所後も職業、家庭状況、一身上の事情等について適切な措置を講じてゐます。施設についても、右の答申の方針と合致するやうにしてゐますが、結核の治療は、本人の生活状況、性質、發病動機、體質によつて千差萬別であり、特に患者自身の自衛と忍耐を要し、療養生活の態度とか環境に支配されることが多いのです。従つて建物に關してもこれらを考慮し、周囲の氣分とよく調和させ、明快なサナトリウム型式にするやうに心掛けました。外觀、内部とも刺戟の強くない、しかも飽きの來ないやうな患者



病棟部—病室は南向きにし、採光と通風を考慮し、最も快適に暮らして療養できるやうに計画し、できるだけ家庭としました。これは食事の運搬、静養の保持、重症者の輸送、看護婦の見廻り等を考慮した結果です。

一病棟には五十人から七十五人前後を收容し、各棟に看護婦および看護婦長の諸室を設け、大病室は六—八人、個室には二人室、一人室の別があり、だいたい收容總数の一割づつを宛ててあります。なほ總数の一割を收容できる外氣小家を松林中に點在させて、晝夜窓を開放し、新鮮な空気を呼吸して病肺の治療をうながし、全治させるやうにしています。

外氣小家に生活する患者はもちろん輕快者で、外見上は全く普通の健康人と違はず血色の良いのは一瞥するほどです。合理的な治療と、規則的な生活、新鮮な空気が純粋な光によつて、患者は有菌から無菌へ、安静から散歩へ、回復後から労働へと、種病以前よりさらに頑健な肉體と強固な精神力をうるやうになり

ます。そのために病状と個性を考慮して家畜の養育、農作物の栽培、所内の勤勞その他園藝、木工等、作業療法をするためにいろいろの設備を整備してあります。また指導官をおき、退所後の職業指導、一身上の相談にのり、爾後の生活に對して萬全を期してあります。

作業部—炊事場と洗濯場、洗滌場が主體で倉庫、消毒所が附屬してあります。食餌療法ともいわれるほどですから、炊事場は常に五百人の患者の食事を、それだけの症候に應じて供給できるやう完備し、蒸氣炊釜を建前としてあります。食器の消毒も完全に行はれ、衣服器具等すべて完全に消毒できます。

病棟附屬部—患者用浴室と理髮店、職員および附添人用の浴室と、附添人室とがあります。

の熱誠に燃える多數の應募者があり、豫定人員の數倍に上る盛況で、その中から優秀な者を選抜して養成することができました。

これらの優秀な看護婦が多數集り、傷痍軍人のために奉公の誠を盡し、日夜激務に服してあります。ですから、その宿舎は、休養と睡眠を十分に考慮し、舎内の生活には休養、慰安ならびに修養に重點を置いてあります。

こんな施設の下で、傷痍軍人としての矜持を保持し、規律のある療養に精進し、疾病を克服してゐるので

しかし閉病は、長期に亘るものですから、その間に適切な衛生講話や講習、慰安等によつて療養生活を有効にしています。慰安施設としては講堂、娛樂室、面會室を設け、地方有志の慰安演藝會、映畫會、展覽會等が開かれ、その他ラジオ、蓄音機、圖書、新聞を備へ、また附近の學童からの寄贈

傷痍軍人温泉療養所 傷兵院 傷痍療養所

の書畫、手藝、盆栽、遊戯具を配備してあります。また敷地内に神社を設けて、

敬神思想の昂揚につとめてあります。

古來、温泉は外傷や神経痛に特效があると言はれてゐますが、わが國は火山地帯に位置する關係上、多くの高温泉があり、近ごろ盛んに醫療方面に活用され、温泉地を遊樂地とみる考へ方が次第に是正されつゝあるのは、真に喜ばしいことです。

温泉療養所 この温泉は、大部分は單純泉、塩類泉であります。これは醫療の必要から來てゐるので、

建物傷痍軍人療養所と同様に地方色を盛り、機能的な計畫の下に設計されてあります。收容定員の約半數は、附添人を要する脚部疾患患者を豫想し、各寮室から浴場、食堂、治療室へは同一階または緩勾配で連絡し、寮室は二階建とし、階段の傾斜も出来るだけ緩やかにしてあります。その醫療施設は下記の通りです。

- 1 運動浴槽 (内部に鐵棒のある深槽)
 - 2 全身浴槽 (個人浴)
 - 3 空氣泡沫浴槽 (個人浴)
 - 4 水または蒸氣による治療施設
 - 1 蒸氣壓注装置
 - 2 冷温交代壓注装置
 - 3 全身雨浴装置
 - 4 四肢浴装置
 - 三、電氣治療、機械治療その他各科の診療施設およびマッサージ室
 - 四、湯川、別府、小濱の各療養所には鍍泥浴と同巻包用室があります。
- 患者用浴室は、最もよい位置に設けて、床腰ともクイル張とし、窓を大きく取つて快適なものとし、脱衣後は杖がなくても浴槽に行けるやう手摺を設け、浴槽は横臥用の淺いものと、普通用の深いものとの二種にしました。これらの歩行不自由者(但し杖を持つて歩行できる者)に對する心遣ひは、便所に

さへ配られ、場合によつて附添人とも入れるやうな廣さとし、或ひは手摺を設けてゐます。

各寮室は和洋の二種があり、十二疊四人宛を收容し、南側には縁側か二重窓を設けてゐます。食堂は集會等に使用し、休養室は休養や娯樂、面會等にも使へるやうになつてゐます。温泉は一ヶ所一日の所要量約六百石です。

傷兵院 傷兵院は、口清日露戦役による戦傷者で、歸郷後、生業に従事できず、また生活上、他人の介護を要する軍人を入院加療させてゐます。初め東京市奥町に設立されましたが、昭和十一年三月、現在の神奈川県小田原市に改築しました。温泉は豊富、眺望の良い所です。

傷痍軍人箱根療養所 外傷に基づく中樞神経障害者の中、とくに脊髄に損傷を來したものを療養する所で、傷兵院内に療養所を設け、マッサージ

や各種の理學的治療を以て萬全を期してゐます。

傷痍軍人武藏療養所と 傷痍軍人下總療養所

傷痍軍人の精神障害者に對しては、武藏療養所があります。建物の構造は、特に柔かい感じを與へ、精神的な刺激を與へぬやう注意し、特に智能検査等の設備を完備し、そのほか傳染病結核に對する治療設備があります。病室は、多く疊敷とし、家庭的な雰圍氣をかもし、火氣の持込みを嚴禁するため蒸氣暖房で採暖します。

傷痍軍人職業補導所及び 失明傷痍軍人寮と同教育所

醫療保護を受け傷痍の治癒した傷痍軍人を銚後の社會生活に復歸させ、自

頭部に戦傷を負つた者には、傷痍軍人下總療養所があります。こゝでは身體の自由を失ひ、または言語の發音に支障を來し、頭痛等の特殊の症狀に對し、機能検査や適性検査を行ひ、傷ら職業指導等をするいろ／＼な設備があつて、再起奉公の途を開いてゐます。定員の三割程度は重症と看做し、病室は板張蒸氣暖房にしてゐます。

分で再起奉公させるためには、傷痍の狀態、性能、前職、境遇に應じて適當

な職業を選び與へる機關がありますが、また原職復歸する者に對しては再訓練を、職業経験のない者には職業再教育を實施してゐます。

この目的のために大阪、福岡の二ヶ所に國立職業補導所を設け、東京の財団法人啓成社を擴充し、これらの施設で比較的高度の教育をし、さらに職域に必要な作業、義肢補助器具の研究と製作配給も行つてゐます。補導所内では軍隊同様の規律と、あらゆる醫

軍人遺族職業補導所

遺族援護は單に生活保護に止らず、社會的、經濟的に獨立自營の生活ができるやう、その職業補導にも手を延ばしてゐます。これまでも各縣にこの種の施設がありますが、戦争の長期化、經濟機構の再編成の形勢等、遺族にと

的保護を與へ、再起の念を漸發し、寮を建てて共同生活をさせてゐます。教育内容は銚接、鑄物、フライス、仕上等の重工業から精密機械、木型工場經理、旋盤、家具工藝、洋服洋服に至るまで設備してゐます。戦傷のため視力を失つた失明傷痍軍人は、東京小石川の傷痍軍人寮に收容し、他に教育所を設けて日常生活の訓練と將來の職業教育を施してゐます。

つて深刻なものがありますので、本院では、軍人遺族東京職業補導所を設けて地方の補導施設と相應じ、主として國民學校高等科卒業程度の學力ある戦死者の寡婦を對象として、理想的補導の範を示し、またこの種事業に

關する調査研究をしようとしてゐます。

補導種目は和裁、洋裁、産婆、看護婦、保健婦、營養士、保母等であつて、地方より高度の、或ひは地方では習得困難なものを一年乃至二年間補導し、その他、必要によつて、製圖、タイプライター、簿記、珠算等につき随時短期補導等を行ふものです。敷地は東京市淀橋區西大久保射撃場の隣りで、建物は補導所と保育所および附屬建物に分れてゐます。前者は上記の各種目の修得用教室、即ち刺繍、和裁、洋裁、保健實習の各教室および教材室、圖書室のほか、事務室および入所者の乳兒に對する受講用の保育用乳兒室、節制室等を、後者は保育室、保母室、遊戲室、兼講堂を設け、他に洗濯室などがあります。寮舎として附近の同潤會戸山ヶ原母子寮を買収しました。

戦傷者の結婚問題



大東亞戦争を完遂し、大東亞共榮圏を建設するために必要な人的資源確保の問題が、喧しく論ぜられ、政府でもさきに人口政策確立要綱を決定し、結婚促進の推進機関として厚生省に結婚報奨懇話会を設け、結婚奨励と人口の増加に努心してゐます。

國が結婚の斡旋

支那事變の進展に伴つて、傷痍軍人となつて銃後に歸還する人が次第に増えて来てゐますが、昨年十一月に調査した結果によりますと、未婚の傷痍軍人は全傷痍軍人の三割四分七厘に上つてゐます(三十三歳未満三割一分六厘、三十歳以上二分一厘)。さらに、今年の四月にも同じ調査をしましたが、三十歳未満の無配偶傷痍軍人は、相變らず約三割に達してゐます。

國家のために前線で奮闘されて敵弾に傷いた人々、或ひは不幸病廢に倒されて銃後へ歸られた傷痍軍人の再起奉公に、でき得る限りのお力添へをすることは、銃後國民としての當然の義務であります。その傷痍軍人の再起奉公に最も大きな力となるのは、何と言つても好き配偶者です。配偶者の問題は、一般の人々にとつても重大な問題ですが、傷痍を蒙つた人々にとつて、好き半身を得ることは、力強い人生の杖ともなり柱ともなつて、その精神生活と安定させ、前線の體驗を銃後に活かして、再起御奉公ができるかどうかの問題だとも言へます。

結婚思想の普及

まづ銃後の未婚女性に對して、傷痍軍人との結婚思想を普及することが先決問題なので、結婚適齢期にある女性に對し傷痍軍人を正しく認識させ、進んで傷痍軍人の好き配偶者となるやうな思想を養はすやうに努めてゐますが、その具體的方法としては、

- (一) 傷痍軍人の妻を表彰したり、妻の座談會を開いてその尊い體驗や内助の功を一般に知らせ、傷痍軍人の結婚問題に對する理解を深める。
- (二) 市町村長、學校長、方面委員等の幹部に對し、傷兵の配偶斡旋の重要なことを認識させる。
- (三) 婦人團體幹部の座談會とか、女子青年の講習會を開いて、認識を深める。
- (四) 會社工場等の事業主を指導して、こ

結婚への奨励斡旋

第二は結婚の奨励斡旋であります。が、斡旋は親戚とか知人の力に依つての原則とし、たゞ傷痍の種類とか程度、または家庭の境遇などによつて、自然に放置してゐては結婚が困難と思はれる傷痍者には、積極的に斡旋するこ

周りに頼れる問題は、親戚知己など、周囲の人々の奉仕的な熱意によつて解決さるべきものであります。我が國では、國家が傷兵の婚姻にまで手をさしのべてゐます。

この問題については、早くから愛國婦人會などのやうな婦人團體と軍病院とが連絡をとつて、或る程度の處理解決をして來たのですが、支那事變の進展に伴つて歸還傷痍軍人の數が増え、結婚の問題がいよゝゝ大きな問題となつて來ましたので、昨年の六月三日に取敢へず探護局長の名で全國の地方長官に宛て通牒を發し、傷痍軍人の配偶者斡旋に對して協力を求めました。

その後、各道府縣、市町村、民間諸團體、特に婦人團體を通じて、その解決に努力してをります。

次に軍事保護院の指導の下に、中央、地方ならびに民間諸團體を通じて

とにしてをります。その方法として、
 (一) 道府縣には、傷痍軍人配偶者斂
 浦務委員が設けられてをり、これは道
 府縣關係課、軍、市町村、軍人援護
 會支部、傷痍軍人會支部、銃後奉公會
 婦人團體等、各種團體の幹部、方面委員
 費族家族指導員からなつてゐます。

(二) 既設の一般の結婚相談所の中で適當
 なものには、傷痍軍人部門を設けさせ、
 また必要な箇所には、傷痍軍人結婚相談
 所が設けられてゐます。最近の調査で
 は、元愛國婦人會支部に十七ヶ所、傷痍
 軍人會支部に三十五ヶ所、銃後奉公會そ
 の他二十ヶ所に傷痍軍人結婚相談所が設
 けられ、昨年の四月から今年の三月まで
 に取扱つたものの六割を成立させまし
 た。また個人として立派な成績を擧げて
 ゐる相談所もあります。

(三) 具體的な斂旋は、だいたい關係團體
 の幹部とか方面委員、費族家族指導員が
 あたります。多くは婦人團體とか、費族
 家族指導員の側で結婚希望の女性を調査

し、一方、傷痍軍人會支部相談所とか方
 面委員の側では、結婚希望軍人を調査
 し、一定の調査票に記載し、これに基づ
 いて結婚相談所とか、連絡協議會等で
 は、双方の希望をみて適當に組合せ、本
 人に照會して具體的に斂旋します。

結婚と結婚後の指導

第三の結婚式の舉行と結婚後の指導
 については、

(一) 結婚式の舉行は嚴肅簡素を旨とし、
 斂旋者のほか市町村長や傷痍軍人會支部
 の職員、分會長が出席し、道府縣長官ま
 たは軍人援護會支部長から適當な記念品
 を贈呈します。

(二) 結婚後の指導は、健全な家庭生活を持
 續させるため特に必要であります。この
 ために銃後奉公會、婦人團體、傷痍軍人會
 支部の職員が中心となつて、生活の相談
 や輔導を行つて生活を確立させ、また、
 これらの團體では、年に一、二回、傷痍
 軍人夫妻を招待し、教化指導にあたると

ともに慰安會などを開きます。
 要するに、戦傷者の結婚問題は、傷
 痍軍人の精神生活の安定をはかり、再
 起奉公の熱意を振起させるためのも
 のですから、多く斂旋するだけでは、
 却つて所期の目的に反する結果を招く
 ことになり得ます。

また結婚の指導斂旋には、本人はも
 とより双方の家庭の十分の理解がなく
 てはなりません。殊に經濟問題とか恩
 給問題、生活問題などについては、豫
 じめ双方とも納得した上で結婚するや
 りに指導せねばなりません。若き女
 性の一時の感激や感傷に基づく結婚
 が、往々にして悲しむべき破局に陥ち
 た例もあります。また内科疾患、即
 ち呼吸器病を経験した傷痍軍人は、治
 癒後も、必ず醫師の周到な指導を受け
 て結婚生活に入るべきであります。

應募の軍人援護電話は次號に

傷痍軍人

指導農場



傷痍軍人に適當な職を與へ、再起奉
 公の實を擧げさせることは、まことに
 大切なこととありますが、その中でも
 胸部疾患の傷痍軍人とか、頭部戦傷等
 の特殊障礙の傷痍軍人に對しては、
 特別の配慮が必要なので、軍事保護院
 では、昨年度に「傷痍軍人奉公財團」を
 設立して、専らこの仕事に當ることに
 しました。

傷痍軍人奉公財團は、昨年度から國
 庫補助金を受けて、その事業を遂行し
 てゐますが、今日のところでは、その
 事業を工業と農業の二大部門に分けて
 進めてゐます。

即ち、前者は各地に小作業所を設け、
 特別の勞務管理の下で、これらの傷痍
 軍人に適した種類の作業を選んで、金屬
 機械作業を課すものであり、後者は、
 農業によつてその目的を達しようとする
 ものであります。このうち工業につ
 いては、既に週報(昭和十六年十月一日
 発行第二六〇號)で紹介しましたから、
 こゝでは農業部門の大體を紹介しませ
 り。

指導農場の設立

農業部門は二つの種類に分けるこ
 とが出来ます。その一つは豫備的事業
 であり、他の一つは恒久施設ともい
 ふべきものであります。十六年度豫

算に計上されたものは、その中の豫備
 的事業であります。これは一種の教育
 的、實施指導的の設備で、恒久施設に
 選ばれる前に、こゝへ收容して約一
 ケ年間、健康の増進、農業の科學的經
 營の指導、農道精神の涵養陶冶の三位
 一體の訓練と指導を行ふものです。
 財團では、農林省の好意ある斂旋で
 茨城縣の支部に、適當な土地を得る
 ことが出来ました。これは日本國民高
 等學校協會の所有地で、以前、同協會
 が經營してゐた國民高等學校のあつた
 ところでありましたが、同校がそこから
 現在の内原に移轉し、その跡地の約三
 十町歩が空地になつてゐたのを、この
 事業のために同協會から寄附されたも
 のであります。

道場の内容

この農場に約百名の傷痍軍人を收
 容するために、約二十戸の農家を新築

する豫定であります。そして五人で以て一家を組織し、これに七反歩づゝの土地を割當てて經營させ、茶園や小家畜は、各戸で栽培、飼養しますが、さらに共同設備として大家畜舎、農産加工場、共同炊事場、共同浴場があり、そのほか本館、病室、講堂、教室の設備があり、丁度一つの模範的な小農村部落が新設されるわけでありませぬ。ここには場長、技師、技手その他の職員が住つて指導し、日本のなまの農道精神を培ふと共に、また一方では、科學的な農業經營を指導し、その上、專屬の醫師や看護婦が、いろ／＼と面倒をみますから、健康を増進しながら、農村の中堅人物になるための訓練が行はれることになりませぬ。

入所と訓練

この指導農場に入所するものは、胸部疾患の傷痍軍人や特殊障礙の傷

痍軍人の全治または將治者に限られることですが、傷痍軍人でさへあれば、經歷は敢へて問ひませぬ。農家の相續者とか、將來獨立しようといふ農家の二、三男はもとより結構であります。また時局により轉業しようとする者などにとつても、利用してよい施設であるといへませぬ。

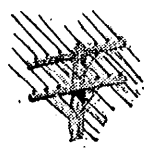
この訓練されるのは、前述の通り一ケ年でありませぬ、では、こゝを終了した人達をどんな施設に結びつけたらよいか、いはゆる恒久的施設が極めて肝要な問題であります。これは目下計畫中でありませぬ。その方法は兎も角として、これらの人々を農村における中堅農業者に仕立て

寫眞週報

第二百四十號

九月三十日發行 定價 十 錢

- 軍人援護強化運動特輯
- 再起奉公を夢みて療養の日を送る
- 明日への希望を胸に秘めて
- 職業戦線に立ちたうとする未亡人たち
- 兵隊さん有難う
- 苦難の峠を越えて
- 新中國へ答禮使節晴れの首途
- 新生シヤワの建設に立ち働く原住民
- 兵隊さんの小説 マレーの俘虜(五)
- 満洲國建國十周年式典寫眞ニエース
- 町から里へ救援案山子隊の贈物



強化される 電燈の消費規正

電 氣 廳

今年の冬は去年以上に電氣を大切に使用しなければなりません。それは毎年多になりませぬ。河川が渇水するため、水力による電氣力が低下し、そのまゝでは需要に應じきれなくなるのですが、平時ですと、石炭を燃して火力發電をして水力の不足を十分に補ふことが出来ますので、数年前までは電氣の節約といったことは考へないでも済んだのでした。

ところが今日では、閑散進行のため東部に、生産力擴充に必要な電力はますます増加する一方で、しかも石炭の入手は困難で、品質も低下し、従つて火力發電によつて十分に補給して、この電力の需要増加に應ずることは困難であります。しかし軍需と生産力の擴充用の電力は、萬難を排して供給を確保せねばなりませんから、一般用の電氣は、今までよりも一段と節約し、これに振向けねばなりません。

電氣消費規正の結果に基づいて、次ぎの通り定められてあります。即ち定額制によつて供給されてある需用家に對しては、電氣消費規正が最初に實施された直前の取附容量が四百ワット(燭光にして三百二十燭光)を超過するものにつき、その二割を規正して百分の八十を限度として、減燈または減燭することになつてをりますが、これは昨年度と同じで別段の變更はありません。

改正の要點

今年の消費規正のやり方は、昨年度の電

次に今回とくに改正された點は、メートル制によつて電力の供給を受ける場合(工場、鑛山、その他の作業場、學校、公

電燈、開閉器等の公共施設を除く

(イ) 各需要家の用途により住宅用甲類と乙類、営業用甲類と乙類に区分し、それぞれに應じて消費基準を異にし

(ロ) 右の区分に従って各需要家の一月當りの使用できる限度を定め

(ハ) 消費規正の適用を受ける需要家の範囲を勘定し、これまでの十燈以上であつたものを、十燈以下の全需要家にも及ぼしたること

であります。これを詳しく申しますと、左の通りであります。

(イ) 住宅用 消費電力量の限度(一ヶ月當り)

甲類 契約電燈が十燈以下の場合は、二十五キロワット時とし、十燈を超過する場合は、これに超過電燈一箇につき一キロワット時を加へたもの

乙類 住宅用甲類の消費電力量の限度に十キロワット時を加へたもの

(ロ) 営業用

甲類 五キロワット時に契約電燈数を乗じたもの

乙類 七キロワット時に契約電燈数を乗じたもの

なほ、住宅用甲類と乙類、営業用甲類と乙類の區別は、次ぎの通りであります。

住宅用甲類 住宅用乙類以外のもの

住宅用乙類 北海道、青森縣、岩手縣、秋田縣および山形縣におけるものと、積雪が多いため長時間點燈を要する地方で、逓信局長が指定した地域におけるもの

営業用甲類 事務所、貸事務所、銀行、旅館その他これに類するもの。料理店、飲食店、席貸、待合、貸座敷、遊藝場、興行場その他これに類するもの

営業用乙類 商店、公衆浴場、理髮店、下宿、アパート、病院その他これに類するもの

なほ、営業用甲類または乙類に屬するもので、住宅用を兼ねる場合は、それらに營業用甲類または乙類と看做し、營業用甲類と乙類の何れにも屬するもの

住宅用の電氣

電氣の用途は、電燈、電力、電熱、ラジオ等、いろいろあり、またそれらの用途によつて重要性に差がありますから、従つて使用できる限度も異なつてあります。こゝでは國民全體に關係のある住宅で電燈に使用できる電氣の限度について述べます。

住宅では、今年の十月一日現在で契約電燈数が十燈以下の家では、一ヶ月に二十五キロワット時まで使つてよいのですが、それ以上使つてはいけません。電燈の契約電燈数が十燈を超える家では、十燈を超過する電燈一箇につき、一ヶ月に一キロワット時は餘分に電氣を使つてもよいことになつてゐます。例へば電燈が十五燈ある家では、一ヶ月に三〇キロワット時まで使つてもよいわけです。

もし一ヶ月の使用量が超過した場合に、その超過した電力量に對しては普通の電氣料金によらないで、一キロワット時に

つき五十錢づゝ支拂はねばなりませんし、場合によつては、逓信局長の命令で、電燈會社から電氣の供給を中止されることもあります。よき注意せねばなりません。

上手な使い方

そこで、どうすれば節電できるかが問題になつて來ます。電氣が足りなければ電燈を暗くすればよい」と考へる方がありますが、勿論暗くしてゐても差支へない所は暗くすべきですが、讀み書き、勉強、裁縫などをやる室を、たゞ愕然と暗くしてしまふことは、決して上手な處置とはいへません。

手まめに消して明るく使ふ人のみない室、廊下や階段等の電燈を點けつきりしておくことは、最もいけないことです。たとへば電球は小さくても、長いこと點けつきりしておきますと、豫想以上の電氣を消費することになります。反對に、手まめに消せば、與へられた電氣量の範圍内で、相當に明るい電球を使ふことが出來ます。

また家族が夜間、各部屋に分散して自分の好きなことをしたので、電氣の消費量がこの限度を超へ勝ちになります。そこで家族はなるべく集つて、電燈を消してゐる部屋が多くなるやうに心掛けませう。

同じ電氣を生かして使ふ

電球の電氣を二倍にも三倍にもつけなくて電燈をつけたら、電球がキラキラするばかりで、机の上や讀む新聞、裁縫の手許は、暗いことになり、深目の笠を使つて、光を周囲へ散らさないやうにすれば、同じ電球で二倍にも三倍にも明るくすることが出來ます。また良い電氣スタンドを利用して光源を手近におけば、四〇ワット程度の電球でも讀み書きが容易く出來るだけの明るさが得られますから、電燈の笠を調べて電氣を生かして使ふ工夫が大切ですよ。

使用計費を建てること

一例として居間、茶の間、客間、子供室、玄關とお座敷が五室ある家について考へてみます。一室に一燈づゝで五燈、そのほか、浴室、階段、湯殿、便所に各一燈づゝ、門燈

を加へて合計十燈としますと、一ヶ月の使用量を二十五キロワット時以内で済ますやう前もつて計畫を樹てるのです。

電球の大きさは、普通一層當り十ワットあれば先づ十分ですが、たゞ八層の客間は、この多は六十ワットにしておきます。使用時間は家族の數とか主人の歸宅時刻、就寝時刻、子供の勉強の工合によつても違ひますから、一ヶ月平均して各電燈を一日何時間づゝ點けるかを研究してみることです。次ぎの表はさうした一例です。

電氣の使用計畫一例
電球の一日平均使用電氣量
電球の大きさ 時間 電氣量

Table with 4 columns: Room (居間, 茶の間, 客間, 子供室, 玄關, 湯殿, 階段, 浴室, 便所, 門燈), Wattage (ワット), Time (時間), Electricity (電氣量)

合計

一月(各日) 六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、合計

アイロン 三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、合計

ラジオ 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、合計

電燈 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、合計

電氣の使用量をメートルで計量しない、電燈会社の送電時間中は点けきりにして、四十ワット電球は一月いくらといふやうに、定額で電燈を付けてゐる家は、この前の冬と同様の制限を受けます。即ち昭和十五年二月九日現在の取付容量が合計四百ワット又は三百二十燭を超えるものは、その八十%の容量まででは使つてもよいのです。もし、その八十%が四百ワット又は三百二十燭に達しない場合には、合計四百ワット又は三百二十燭までは点けてもよいことになつてゐます。しかし深夜不用の電燈を点火しておくことは慎まねばなりませんし、また特の間でも使用時間は出来るだけ節約するやうにせよ。

電氣の特配 住宅で中等學校以上の學生生徒があつて、勉強のために告示の消費限度では足りない時とか、お産や不幸があつて電燈を添山つけなければならぬ時には、隣組長と町會長の證明を持つて電燈会社に申込みますと、一定の基礎で電氣の特配を受けることが出来ます。詳しいことは最寄りの電燈会社の事務所へ御相談下さい。

實施期間は 今年の冬、この電燈に使ふ電氣の消費を實際に制限するのは十一月からですが、十一月中は練習期間といふことになつてゐますから、十一月中によく練習して、かういふ風に電氣を使へばよいといふ體験を積むやうにせよ。この練習期間中は、もし所定の限度を超過しても、超過分に對して高い電氣料金を支拂ふ必要はありませんが、十一月に入りますと、告示の通りに實行していただかねばなりませんから、一キロワット時の電氣でも、お國のために使ふのだといふ心構へで節電に心掛けませう。

電氣の特配

住宅で中等學校以上の學生生徒があつて、勉強のために告示の消費限度では足りない時とか、お産や不幸があつて電燈を添山つけなければならぬ時には、隣組長と町會長の證明を持つて電燈会社に申込みますと、一定の基礎で電氣の特配を受けることが出来ます。詳しいことは最寄りの電燈会社の事務所へ御相談下さい。

實施期間は 今年の冬、この電燈に使ふ電氣の消費を實際に制限するのは十一月からですが、十一月中は練習期間といふことになつてゐますから、十一月中によく練習して、かういふ風に電氣を使へばよいといふ體験を積むやうにせよ。この練習期間中は、もし所定の限度を超過しても、超過分に對して高い電氣料金を支拂ふ必要はありませんが、十一月に入りますと、告示の通りに實行していただかねばなりませんから、一キロワット時の電氣でも、お國のために使ふのだといふ心構へで節電に心掛けませう。

電氣の特配 住宅で中等學校以上の學生生徒があつて、勉強のために告示の消費限度では足りない時とか、お産や不幸があつて電燈を添山つけなければならぬ時には、隣組長と町會長の證明を持つて電燈会社に申込みますと、一定の基礎で電氣の特配を受けることが出来ます。詳しいことは最寄りの電燈会社の事務所へ御相談下さい。

實施期間は 今年の冬、この電燈に使ふ電氣の消費を實際に制限するのは十一月からですが、十一月中は練習期間といふことになつてゐますから、十一月中によく練習して、かういふ風に電氣を使へばよいといふ體験を積むやうにせよ。この練習期間中は、もし所定の限度を超過しても、超過分に對して高い電氣料金を支拂ふ必要はありませんが、十一月に入りますと、告示の通りに實行していただかねばなりませんから、一キロワット時の電氣でも、お國のために使ふのだといふ心構へで節電に心掛けませう。

電氣の特配 住宅で中等學校以上の學生生徒があつて、勉強のために告示の消費限度では足りない時とか、お産や不幸があつて電燈を添山つけなければならぬ時には、隣組長と町會長の證明を持つて電燈会社に申込みますと、一定の基礎で電氣の特配を受けることが出来ます。詳しいことは最寄りの電燈会社の事務所へ御相談下さい。

實施期間は 今年の冬、この電燈に使ふ電氣の消費を實際に制限するのは十一月からですが、十一月中は練習期間といふことになつてゐますから、十一月中によく練習して、かういふ風に電氣を使へばよいといふ體験を積むやうにせよ。この練習期間中は、もし所定の限度を超過しても、超過分に對して高い電氣料金を支拂ふ必要はありませんが、十一月に入りますと、告示の通りに實行していただかねばなりませんから、一キロワット時の電氣でも、お國のために使ふのだといふ心構へで節電に心掛けませう。

思想戦讀本

3

情報局

思想戦と經濟

米英の思想謀略

大東亞戦争の勃發前、米英が全力を傾注したことは、極力支那事變の長期化をはかり、戦はずしてわが國を屈服させようとするのであつた。いはゆる援蔣政策によつて蔣政権の抗戦力を強化する一方、直接には對日經濟封鎖によつて、わが國の經濟的疲弊を圖

つたことは、周知の通りである。しかしこれらの露骨な反日政策は、わが國の經濟的屈服を招く前にかへつて反撥せしめ、火中の栗を拾はねばならない羽目に陥る虞れなしとしない。こゝにおいて彼らが對日經濟封鎖と並行して進めたのが、思想的な側面からする攻撃であつたのである。 昭和十五年七月二十九日、司法省と陸軍省とは、「七

月二十七日、外國謀報網の一斉檢閲を行つたが、その一味たる英國ロイテル通信員コックスは、二十九日に自殺した旨を發表した。右は支那事變下において米英、とくに英國が、わが國に對していかに周到極まる謀略宣傳を行ひつゝあつたかを暴露したものと見て、朝野を驚駭させたが、當時、右に關聯して陸軍省が發表した談話は、經濟と思想戦との關係を知る上に、極めて貴重な事實を示唆してゐるので、その中から經濟關係の部分を中心に摘記してみよう。即ち、まづ樞軸離間と經濟的反抗主義の醸成を目的として、日本は必要イ、獨伊には限られた資源しかないから、日本は必要とするものを獲得し得ぬこと、

ロ、従つて日本が獨伊に對して澤山の物資を輸出することは不可能であり、且つまた獨伊側の支拂繼續は不可能になること、

ハ、一方、英國は常に日本から澤山の物資を購入し、戦争の進展につれてますますその量は増大すること

ニ、日本は英國側からでない必要資源を獲得することができぬこと

ホ、結局、獨伊側に物質的援助を與へるのは日本の損失であること

等々頻りに宣傳したのであるが、これらの宣傳を行ふには、英國系商社、學校、教會、俱樂部を據點とし、その数は資本金五万圓以上の英國系商社、銀行が約二百、協會、俱樂部は約三十、學校は八十校、教會は約二千の多數を數へたのである。

かくて彼らは、たとへば歲末の繁忙な時期を狙つて故意にガソリンの配給を停止して、戦争のために物資が足りないのだと國民に厭戦思想を植えつけ、或いは神戸のマッチ製造業者から大量のマッチを買ひつけ、日本國內にマッチ不足時代を現出させて、これ位の戦争でさへマッチがなくなるほど日本の經濟力は弱いだと思ひ込ませるなど、巧妙な暗躍を續けたのであつた。

こゝに注意すべきことは、謀略宣傳といふものが、

米國には飛行機が何万架あるとか、日本の武器は貧弱だとかといふやうな、一見デマ宣傳めいたものにとゞまらずに、かへつて謀略宣傳の關係はきはめて理詰めであり、堂々たる思想的權威や、動かし難い事實を裝ふところにあつたことである。

右の實例に徴しても、昭和十四年末に、東京市内のガソリン・スタンドの前に四タケヤトラックが長蛇の列をなしたことは確かに事實に相違ないのであり、昭和十五年、早くもマッチ飢饉が問題になつたことも事實なのである。しかもこれは敵國の故意にする賣惜しみ、買ひ占めにほかならないにも拘はらず、「戦争をすれば物がなくなるのだ」といふ經濟論上の所説や、「經濟現象は常に一定の法則の下に動いてゐるのだ」といふやうな經濟學上の假説を、あらゆる方法をもつて我々の間に披け目なく行き渡らせた上で、これを巧みに利用したものであることを知れば、敵の經濟戦は思想戦に結びついて行はれてゐることを、直ちに理解することができるのである。

戦争と經濟の關係

この意味からして、米英の經濟的思想謀略は、昨日今日に始つたものでは決してない。そも／＼「めいめいが個人的利益を追求すれば、それが即ち國家社會の利益になる」といふ、いはゆる自由主義經濟思想にしても、米英の學問的な謀略の典型的なものであつて、わが國の歴史を顧みれば、連綿三千年の繁榮は、決してこのやうな自由主義思想によつて齎されたものでないことは直ちにわかることであらう。

また、米英等の自由主義經濟發展の跡を仔細に検討すれば、それが自由の名に隠れた植民地侵略であり、また彼ら自身の國內においても、不斷の闘争と動搖と流血の慘事をくり返したものであることは、隠れもない事實なのである。自由主義經濟思想は、これによつてわが國の傳統を破壊し、米英エグザ資本が勝手氣儘にわが國の政治經濟を支配するための、思想的な尖兵であつたことを知らねばならぬ。

戦争と経済との關係に對するいろいろな學說にして、も同様であつて、「戦争をすれば物がなくなる」といふ所説のごときも、これはきはめて重要な條件が附された後にはじめて承認されるのである。即ち、常に強調される通り、わが國の戦争目標が新秩序を建設することにあるといふことは、これを經濟的にいへば、これまで米英的な經濟組織によつて抑壓されてゐた生産力を、伸び／＼と發展させるやうな秩序に打ち掛けることを意味するものである。

戦争は單なる消耗ではないといふことは、勝てば賠償金や領土が手に入るといふやうなことではない。たとへば第一次歐洲大戰後、米英佛等の諸國は巨額の賠償金をドイツに課し、さらに植民地の再分割を行つたのであつたが、それにも拘はらず、自國經濟の崩壊を防ぐことができず、深刻な恐慌状態に陥つたのであつた。これは彼らが既に矛盾に悩んでゐた經濟組織を、ドイツの敗戦に乗じて、さらに世界中に押しつけようとしたがためにほかならない。

軍備の充實や武力戦の遂行は、それに要する物資が直接、國民生活を豊かにする目的には使用されないため、經濟的には單に消耗にすぎないやうにみえるのであるが、不正なる力の跳梁を抑へて、正しい秩序を護り、萬邦兆民をしてその所を得しめるためには不可缺の手段である。

従つて、軍艦が商船のやうに物を運ばないからといつて、「軍艦が經濟的には不生産的である」といふ議論は、世界情勢と世界經濟の實情を無視した空論にすぎない。正しき國家によつて保有され、行使される武力は、あらゆる意味で生産的であり、單に戦争のためには、物が足りなくなるといふのは、戦争目標も何も、度外視した暴論なのである。

卑近な例をあげるならば、わが軍の進攻に際して暴戻な蔣介石軍は、非道にも黄河の堤防を潰潰して沿岸住民を塗炭の苦しみで陥れたのであるが、一軍閥の利害のために、かくのごとき破壊を行ふやうな勢力を掃蕩するためのわが軍事行動が、これを經濟的にいつ

て不生産的であるなどとは決して言へないであらう。

これまで米英蘭等の諸國は、あらゆる方法をもつて東亞の資源を掠奪し、他面、永久に東亞の生産力が伸びないやうに壓迫を加へてゐた。彼らはこの租税を武力によつて強制したのであるが、わが國はこの不正な武力を撃破して、東亞の安定と繁榮とを確保すべく矛を執つたのである。われ／＼にとつては武力戦即生産戦争であるといふことが、この事實からも知られるのである。

しかし、それがどれだけ生産的な事業であつても、今日投下した資本が、明日は全部手許へ戻るといふやうなことはあり得ない。大企業であればあるほど、それだけに大きな資本を長期に亘つて注ぎ込まねばならぬ。この大資本を調達するためには、われ／＼は日常の個人的な慾望をできるだけきりつめてゆかねばならないことは當然の理であらう。戦争遂行のためには、われ／＼がどんな不自由でも我慢しなければならぬ。

いふのは、この理に基づくものである。

これを單に、戦争するから物がなくなるのだといへば、戦争をしなければ物はなくなるなどといふ逆説も成り立つことになるが、しかし、戦争はしてもしなくてもよいといふやうなものではない。そんな無理をしなくても、いまのところは別に不自由はないのだから、暫く泣寝入りしようといふ現狀維持的な考へ方が根柢にある以上は、戦争は無用の消耗としか思へないであらうが、それこそ米英の傀儡となつてわが聖戰の目的を歪め、眞の世界平和のための正しい努力を避けようとするものであることを銘記せねばならない。

精神と物資

戦費として支出される數十億乃至は數百億に上る資金が、直接に發電所を造つたり、灌漑工事をしたり工場を造ることに使用されるならば、それだけでも、われ／＼の經濟生活は非常に豊かになるであらうこと

は明らかである。その意味では、戦争は大きな消耗を意味するものであるが、およそ論議をこゝに止めてしまふ限り、戦争は目的の如何を問はずして罪惡視され、嫌惡されるにいたるのであつて、米英は經濟學の名をもつて、この反戦、厭戰思想をひそかにわが國に持ち込んだのであつた。

さらにこの所説をそのままに敷衍するならば、物質力の大きなものほど戦争にも強い道理であり、米英が自己の經濟力の優勢なることを誇示して、わが國の對獨接近を妨げ、且つ親米英的屈辱に甘んじさせようとした論據もこゝにあつたのである。これは世界の重要資源が殆んどすべて米英の掌中にあつたといふ事實が、永久に變らないものであるといふことを前提としなければ成り立たぬ議論であるが、物質的に弱い日本が、實力をもつて米英の世界支配網を斷ち切ることが不可能であり、かくて日米英間の物質力の相違はいつまでも變らず、その故にまた日本は永久に米英に勝て

ないといふ論法が生ずるのである。

だが物質力に相違があるとしても、それが戦争のすべてを決定すると考へることは、まったく誤りである。武力戦にしても精神力のみでは戦へぬことは周知の通りであるが、最大限度の装甲と無数の防水壁をもち、これに加ふるに一分間六万發の彈幕を形成する對空火器を有して、航空部隊に對してはもとより、いかなる攻撃に對しても絶對に安全であると誇稱した英の不沈戰艦プリンス・オブ・ウェールズの最後は、物質力の實體を示して遺憾がない。經濟は人爲をもつて如何ともし難い自然法則の世界なのではなく、經濟の本質は人間に奉仕するところにある。

しかるに人間を經濟の奴隸と化し、經濟法則の名によつてユダヤ資本の專横を合理化しようとしたのが米英の經濟體制であつたのである。プリンス・オブ・ウェールズの最期は、この意味で米英的思想謀略そのものの最期であつたといはねばならないであらう。

軍縮條約の悲報が傳へられたとき、わが東郷元帥は、「一言「剛練に制限はあるまい」と不退轉の決意を示され、また「百發百中の砲一門は百發一中の砲百門に匹敵する」と喝破された。故元帥の教訓は、帝國海軍の傳統として今日の無敵海軍を築き上げた不拔の信念なのである。しかも「經濟戦争においては物質力が一切を決定し、その物質力たるや人爲の如何ともし得ない自然法則に支配される」とするやうな經濟學なるものが存する限り、經濟戰必勝の方途は生れず、また生れ出づべき道理はない。

しかし、經濟といふものは、われわれの精神から離れて存在してゐるものではなくて、何が經濟であるかを考へるわれわれの心によつて生まれるものである。心を主とし、物質を従とするといふことであれば、心さへ正しければ、物質はどうでも良いといふ風にきこえるかも知れないが、むしろ心正しければ物質もまた正しい。正しい心によつてのみ物質にその本然の姿を與

へ、強力にしてしかも國家社會に貢獻し得る經濟を創ることができるのである。

國體觀に徹せよ

由來、わが國が今日あり得たのは、これを明治以後の近い時代に徴しても、常に一段と高い見地から經濟を導き來つたためであつた。即ちわれわれが、わが國の經濟をいはゆる經濟法則の趨くがまゝに委ねておいたならば、米英佛蘭等の外國資本によつて蹂躪され、經濟的植民地と化したことは必定である。特定の人々はなほこれによつて利益を得ることができたとしても、國運の隆昌は遠くこれを望むことができなかったであらう。これを近世支那の運命に鑑みれば、容易に理解し得るところなのである。

明治維新の鴻業を達成し、能く外侮を排しつゝ光輝ある歴史を全うすることができたのは、諸外國に對抗するに足る資本と經濟力を有してゐたがためではな

い。これを南北戦争や普佛戦争等の世界情勢に歸する人があるが、同じ時代に支那や安南等が立ちいたつた植民地化の實情を顧みるならば、この説明が全く當を得たものではないことがわかるであらう。むしろその後、日清、日露の兩役を通じて發揮された驚くべき競争力や、列國の壓迫下に貧弱な経済力をもつて能く世界に冠たる陸海兩軍を建設した歴史を按ずることによつて、實に經濟といはずすべての上に立つて、儼然とその覇を、べき途を示し給ふ大御稜威あるのみであつたことが切實に感じられるのである。

世上、やゝもすれば、國體明徴は一つの精神運動であり、これと經濟建設や經濟競争には少くとも直接の聯關はないと考へるものもないとはいへないやうであるが、國體にして明徴でなければ、わが國經濟の植民地化は夙に免れることができなかったのみでなく、また植民地、半植民地諸國はいふまでもなく、わが國すらが強制され來つた不當な經濟的壓迫を排して、眞に

正しい經濟の秩序を打ち樹てることなどは思ひもよらぬことといはねばならない。加ふるに相對立する經濟の利害は、これをその所を得しめるに途もない結果として、不斷の鬭争に悩まねばならないのである。社會主義思想のごときも、こゝから生じたものであつた。畏くも、天皇陛下には昭和元年十二月二十八日、踐祚後、朝見の儀に於て賜はりたる勅語に

軌近世態漸ク以テ推移シ思想ハ勳モスレハ趣舍相異ナルアリ經濟ハ時ニ利害同シカラサルアリ此レ宜ク眼ヲ國家ノ大局ニ著ケ舉國一體共存共榮ヲ之レ圖リ國本ニ不拔ニ培ヒ民族ヲ無疆ニ蕃クシ以テ維新ノ宏謨ヲ顯揚センコトヲ懋ムヘシと仰せられてゐるのであるが、經濟が政治を壟斷し、黨派が國家を左右する米英的近代國家においては、舉國一體といひ、共存共榮といひ、これを望むべくして望み得なかつたところである。

大正の中葉以後、第一次歐洲大戰中の未曾有の好景

氣を機會として、頓に擡頭し來つた自由經濟と民主主義政治の思想的風潮とが、つひに畏れ多くも、大御心を横まし奉るの弊風を生じ、御訓戒の勅語を拜するにいたつたことは、われら赤子として深くその罪に思ひをいたさねばならぬことであつた。區々たる利害の糾解や主張に非ずして、國體明徴の一事を知ることによつてのみ、わが國の經濟がその道を誤ることなく、今日の大東亞戦争の戰果を仰ぐことができたことを銘記しなければならぬ。

物心一如といひ、心が物を律するといひ、實は尊皇の大義を知るところに、はじめて經濟の大道が明らかとなることをいふにほかならない。尊皇の精神はわが國においてはや單なる心、單なる精神ではなくして、物心を超越した絶對なるものである。

開相場や、買ひ溜めや、浪費は、米英においてもまた惡徳であることに相違はない。だが彼らにあつては、それがお互ひの利益のためといふ卑俗な打算から生ずる

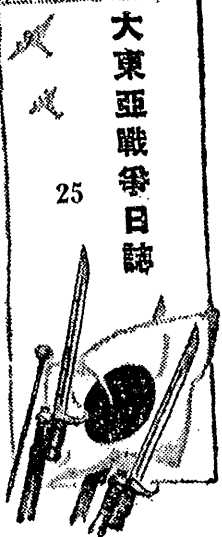
倫理にすぎず、その根柢には依然として個人主義的な利害觀が残つてゐることを知らねばならない。尊皇の精神は自他の利害を比べることを知らない。そこには、はじめて日本の經濟新體制の構想と正しい經濟行爲が生れてくるのである。

かくて經濟戰とは、經濟行爲を通じて國體を顯現することにほかならない。そのやうな經濟戰は、戦ふものの國體觀が純粹無垢でなければ、完遂することは不可能である。物がなしいつては騒ぎ、物が餘つたといつては氣をゆるめるやうな卑少な思想をもつてしては、到底大東亞經濟戰を戦ふことは出來ない。

敵國の直接的な思想謀略は、交戰状態の續く限り從來のやうな猛威を振ふことはできないであらうが、自分の一言半句、一舉手一投足が、大御心に背き奉ることがないかを反省することを忘れたとき、忽ちにして彼らの思想的な陷阱に落ちる虞れのあることを、十分に自戒する必要があるのである。

大東亞戦争日誌

25



自 昭和十七年八月十八日
至 同 八月二十九日

八月十八日(火)

八月十七日未明、我が軍が開戦の初め占領した英領ギルバート諸島北端マキン島に米奇襲部隊が来攻、米兵約二百名が上陸したが、同島の我が守備隊は、十七、十八日に亘って猛攻撃を加へ、これを完全に驅逐した。

浙贛地区の戦線を整理

八月二十一日(金)

五月中旬以来、浙江、江西兩省方面に作戦中であつた中支軍は、作戦目的を達成、次期作戦に備へるため戦線の整理を開始した。

北支軍では、七月の総合戦果を次の通り発表(括弧内は昨年同期)。
交戦回数一、二〇九(七五五)、交戦敵兵力二十万一千(三万七千)、遺棄死體一万一千七百(八千五百)、捕虜約八千九百(約三千)、山砲四(三)、迫撃砲八(一)、重砲

八月十九日(水)

北支軍、七月の総合戦果を次の通り発表(括弧内は昨年同期)。
交戦回数一、二〇九(七五五)、交戦敵兵力二十万一千(三万七千)、遺棄死體一万一千七百(八千五百)、捕虜約八千九百(約三千)、山砲四(三)、迫撃砲八(一)、重砲

八月二十日(木)

感状の二勇士に拜禮を賜ふ
天草陛下には、大東亞戦争に奮戦、感状を授與された久米精一大佐(下野隊)野口剛一大尉(皇軍)等に對し特に單獨拜禮を仰付けられた。

八月二十一日(金)

山西省、七月の総合戦果
南部太行山脈に展開された蔣系第二十七軍の飛渡戦の一部と、山岳地区に掃蕩する殘存共匪掃蕩戦を含む山西省内の七月総合戦果
遺棄死體約六千七百、捕虜三千二百、投降降順一千三百、迫撃砲一九、輕機二四三、小銃三千四百、自動小銃一七七、擲彈筒六

八月二十六日(水)

陸軍南方要員の増員
去る三月七日に公布された陸軍特設部隊臨時職員設置制が改正され、次ぎのやうに南方要員を大増員すると共に、新たに陸軍理事官を設置することになつた(括弧内は舊制)。
陸軍司政官(専任)三百二十八(五十)人
陸軍司政官(兼任)二千八百九人(三百五十)人
陸軍技師(専任)一千九百四十六人(四百二十)人
陸軍通譯官(兼任)三百二十四人(二百二十)人
陸軍通譯官(兼任)三百二十四人(二百二十)人
陸軍通譯官(兼任)三百二十四人(二百二十)人
陸軍理事官(兼任)三百三十四人

八月二十四日(日)

大東亞戦争の勃發以来、俘虜の取扱ひは俘虜管理局を設け、上海、香港、普通寺の三ヶ所に收容所を開設、收容に當つてゐたが、今回さらに朝鮮、臺灣、タイ、マレー、フィリピン、ジャワ、ホルネオの七ヶ所に俘虜收容所を開設し、業務を開始した。陸軍省発表

第二次ソロモン海戦の戦果

我が軍のビルマ進攻作戦に協力、新生ビルマの復興建設に功績があつたビルマ獨立義勇軍は、ビルマ防衛軍として改編され、飯田陸軍最高指揮官の統下に置かれることになつた。ビルマ方面作戦軍発表

八月二十九日(土)

飯田中隊、二田原部隊に感状
マレー作戦に抜群の功績を擡げた飯田中隊と二田原偵察部隊に對し、山下マレー方面陸軍最高指揮官より感状が授與され、上開に達した。陸軍省発表

八月二十五日(火)

工兵隊の二勇士に個人感状
シンガポール島攻略の敵前渡過に、腹部に貫通銃創を受け、或ひは右肺臓、肋骨外に露出するも、なほ脚閉を擔當、任務を遂行した小池工兵部隊編隊久光重吉と横山工兵部隊山本喜代一兵長に對し、山下マレー方面陸軍最高指揮官より感状が授與され、上開に達した。陸軍省発表

八月二十五日(火)

シ一隻中破、わが方の損害、小型空母一隻大破、駆逐艦一隻沈没
ポルト・タウウィンで十四機撃墜
海軍航空部隊は、ポルト・タウウィンに猛爆、殘存軍施設を完碎すると共に、挑戦の敵機隊機群と壯烈な空中戦を展開、十四機を撃墜、なほわが方の損害二機

八月二十五日(火)

我が軍のビルマ進攻作戦に協力、新生ビルマの復興建設に功績があつたビルマ獨立義勇軍は、ビルマ防衛軍として改編され、飯田陸軍最高指揮官の統下に置かれることになつた。ビルマ方面作戦軍発表

週報は民翼賛の道しるべ

24

昭和十一年九月十三日

内閣印刷局印刷發行

内閣印刷局印刷發行

Table with columns for bond types (e.g., 9月抽籤, 貯蓄債券), serial numbers, and amounts. Includes a title '9月抽籤 貯蓄債券 當籤番號表(其ノ三)' and a date '昭和十一年九月十三日'.

(本書の大きさは國定規格[A5]判)